

平成29年度 第1回 堺市立図書館協議会 会議録

開 催 日

平成29年8月30日（水）午後2時から4時

場 所

堺市立中央図書館 集会室

出席委員

常世田良会長、脇谷邦子副会長、中辻道雄委員、平野祐子委員、
飛石隆男委員、高橋裕子委員、山中浩之委員、森美由紀委員
（欠席：寺田孝志委員）

事務局

松井中央図書館長、前川中央図書館副館長兼総務課長、
浦部参事（企画・調整担当）、赤嶺総務課長補佐、
吉田中図書館長、成清東図書館長、中川西図書館長、
辻野南図書館長、杉田北図書館長、六車美原図書館長、
白川主幹兼企画情報係長、竹田主幹兼図書館サービス係長、
山内企画情報係主査、亀坂企画情報係職員

傍 聴

6名

内 容

案件

- 1 平成29年第1・2回市議会の報告について
- 2 「市民の声」に寄せられた図書館への意見等について
- 3 図書館評価について
- 4 その他

開会宣言・会議の成立

傍聴の許可

会議録署名委員の指名

・脇谷副会長、平野委員を指名

案件1 平成29年第1・2回市議会の報告について

⇒事務局

資料1－1・1－2に基づき、平成29年第1回市議会定例会および第2回市議会定

例会・文教委員会での答弁を説明。

●（会長）

中央図書館のあり方や基本構想については、これまでも市長部局との連携が一貫して言われているが、事務局としての考えはいかがか。

⇒事務局

他市の事例でも、図書館はまちづくりの核として位置づけられているところがある。図書館の施策展開として、市長部局との連携は必要だと教育委員会では考えている。それは市長部局も同様で、お互い連携し、情報交換しながらやっていくことは必要だということで認識している。

●（副会長）

予算をしっかりとつけてもらうという意味では、それを握っている市長部局との連携が必要なのは理解する。しかし、図書館サービスについて守るべきところはしっかり守るよう留意いただきたい。

●（会長）

近年は、図書館に様々な機能を持たせ、図書館の来館者を増やし、にぎわいを創出しようという流れがある。しかし、図書館が他の公共施設と違うのは、図書館に行かなくても、あるいは本を借りに行って、建物に滞在していなくても、自分の好きな時間や場所で、その本から情報や知識を吸収することができるという点である。単なるにぎわい創出ではなく、情報を提供し、その情報によって市民がまちづくりをしていく、図書館の本質的な機能を忘れてはならないのではないか。

案件2 「市民の声」に寄せられた図書館への意見等について

⇒事務局

資料2-1、2-2、2-3に基づき、平成29年3月から平成29年7月の「市民の声」の件数と主な意見を説明。

●（副会長）

開館日を増やしてほしいという意見は毎回出ている。全館一斉休館ではなく、職員の負担や費用の面から考えて、休館日をずらすというのも一つの方法ではないか。また、自習室について繰り返し意見が出されているが、これまでの図書館は自習室を無くしてきた歴史がある。閲覧室全体の質を高めることで、自習室を設けない方法があるのではないか。

⇒事務局

開館日拡大については、他都市で様々な事例があり、運営主体の変化もかかわってくる。また学習室に関しては、図書館のスペースの限界という問題もある。今後、意見等

をふまえながら、図書館の情報提供という役割をしっかりと果たせるよう検討していきたい。

●（会長）

図書館＝学習室のイメージがあるからだと思う。非常に難しい問題ではあるが、粘り強く図書館の本質をアピールしていくことが重要である。

案件 3 図書館評価について

⇒事務局

資料 3－1、3－2、3－3、3－4に基づき、図書館評価について説明。

●（会長）

答申の方向性に沿ってこれからの図書館の取組みを考えていくため、協議会の検討事項として図書館評価を取り上げた。

●（委員）

「平成 28 年度 堺市立図書館評価（案）」（資料 3－4）の「多様な学習活動支援」の「講師派遣人数」についてであるが、平成 26 年度から 27 年度にかけて大幅に減少しているが、何か理由があるのか。

⇒事務局

平成 27 年度の「点検評価」を確認すると、区役所や学校で行う「えほんのひろば」の依頼に派遣していたものを、「学校訪問」の項目で計上することになったため、数字としては減少になったと考えられる。

●（副会長）

「快適な利用空間」の中で、「高齢者や障がい者への情報提供や理解を深める講座の実施」の項目はあるが、一般利用者を対象とする指標がないので、項目を検討する必要があると思う。また、「地域情報の収集・保存・提供」や「子どもの読書活動の充実」の項目に堺メモリー倶楽部やボランティアグループとの協働事業なども指標としてあげれば良いのではないか。

●（委員）

図書館の専門職の人数確保は評価項目にできないか。また、「地域情報の収集・保存・提供」の中で図書館作成デジタル地域資料閲覧回数が項目としてあがっているが、デジタル化点数なども指標としてはどうか。

●（会長）

各委員から意見が出たように、堺市の図書館サービスが市民にとってどのくらい役に立っているのか、市民が理解しやすく、納得できる項目を指標にしなければならない。

●（委員）

所蔵資料がテレビや雑誌等に掲載されたり、活用されたかを項目とすると、図書館資料の価値を市民に示すものになるのではないかと。

●（会長）

市民からみて、堺市の図書館が地域に役立っているということがわかる表現方法が重要である。「学習機会の支援」や「快適な利用空間」の項目についてはどこに基づいているのか。

⇒事務局

『図書館概要』にも掲載している堺市立図書館の「図書館サービス方針」の項目に基づいて評価を行っている。

●（会長）

例えば個人貸出点数と展示会開催回数は、割合が同じでも、片方は何百万、片方は1回、2回というように数量に違いがありすぎるものがあり、本来比べられない項目もあるのではないかと。サービスが安定的に、または改善されながら提供されているということが、一般の市民から見てわかりやすいようにすべきである。また、柱立てについても、答申が出て新しい堺市の方向性が示されているので、それに沿って考えてもいいのかと思っている。次回までに事務局とも意見交換をし、改良したものを提案したいと思っているので、お考えいただきたい。

●（副会長）

地域資料のデジタル化など、可能なものについては目標値を設定した方がわかりやすいのではないかと。

●（会長）

例えば障害者サービスや、各館の蔵書構成など、大きなテーマを年度ごとに設定して評価を行ったり、地域の特性にあわせて地区館別に評価する、また図書館の経済効果を測るなど、様々な手法が考えられる。堺市だからできる図書館評価の堺モデルを考えていきたい。

●（委員）

電子書籍サービスの利用数について、自宅にいてもサービスが受けられるという点で評価に入れて良いのではないかと。また、「さかい☆Hug はぐメール」送信件数より登録者数の方が、評価項目として知りたい項目だ。また先ほどの発言にもあった「快適な利用空間」は誰のための快適な利用空間なのかという点は私も気になった。

●（会長）

次回までには整理して提案したいので、各委員は意見を事務局に寄せていただきたい。

案件4 その他

⇒事務局

資料4－1に基づいて「中央図書館基本構想基礎調査業務」について報告。

●（会長）

業者選定委員会は庁内委員会とのことだが、こういったメンバーを想定しているか。

⇒事務局

市長公室企画部、教育政策課、生涯学習課から各1名、図書館から2名、合計5名の委員で構成している。

●（会長）

調査項目については、今後事業者との打ち合わせの中で反映できるので、みなさまからもご意見をいただきたい。この調査をもとに来年度以降も様々な手段を使って市民のニーズを探っていくことになろうかと思う。

⇒事務局

資料4－2に基づき「平成29年度堺っ子読書フォーラム」について説明。

現在調整中ということでご了解いただきたい。

●（副会長）

このフォーラムだが、学校での読書実践の面にももう少し焦点を当てた方が良いのではないか。今年度は中学校に学校司書が配置され、子どもの読書活動にどれだけの影響を与えているのかを知りたい。

また、ここからその他案件となるが、ふるさと納税についてももっとPRに力を入れてもよいのではないか。チラシや「ゆづりは－図書館だより」にも掲載してもよいのではないか。

⇒事務局

ふるさと納税のPRについてはすぐに進めていきたい。

●（会長）

図書館も知恵を絞って、寄附をいただくような工夫が必要である。

●（副会長）

「堺市子ども読書活動推進計画」の改定の進捗状況について報告願いたい。

⇒事務局

今年度は図書館で活動していただいているボランティアと共に「堺市子ども読書活動

推進計画改定に向けての検討会」を3回実施。現在、そこでの検討結果を踏まえて、「堺市子ども読書活動推進会議 担当者的会議」において、全庁的に改定作業を進めている。今後9月末から10月初旬を目途に3回目の会議を実施し、内容を固めていきたいと考えている。

●（副会長）

懇話会を立ち上げると聞いていたが、それはいつになるのか。

⇒事務局

懇話会設置に向け現在調整をしている。予算措置も必要となるので、今の段階では開催時期を明確に申し上げることはできない。

●（副会長）

市民、関係者、行政のお互いの意見を交わしあう場が必要だと感じているので、早く懇話会は立ち上げてほしいと思う。

会長による閉会宣言

以上